

新しい情勢の下でのグローバルな香港研究シンポジウム プログラム

12月14日(土)

9:00 受付開始

9:30 開幕のことば 立教大学アジア地域研究所 倉田 徹

9:40 開幕のことば 中央研究院社会学研究所長 陳 志柔

9:50 第一セッション：政治と市民社会 司会 倉田 徹(立教大学)

倉田 徹(立教大学法学部教授・アジア地域研究所員)

「国安法体制下の香港政治：『中国式化』と『一都市二制度』への転換」

萩原 隆太(東京学芸大学教育学部非常勤講師)

「香港における司法と社会：普遍的価値と国家安全の狭間で」

遊川 和郎(亜細亜大学アジア研究所教授)

「新時代の中央政府と香港」

何明修(国立台湾大学社会学系教授)

「アクティヴィズムとしてのアフターケア：

台湾における香港人の『社会運動のトラウマ』へのケア」

袁璋熙(香港浸会大学政治・国際関係学系副教授)

「香港におけるコミュニティの強靱性の研究：

コミュニティチャットグループの分析を通して」

12:20 休憩(昼食)

13:45 第二セッション：ディアスポラ 司会 阿古 智子(東京大学)

阿古 智子(東京大学大学院総合文化研究科教授)

「東京の華人ディアスポラコミュニティの発展と苦境」

李静君(米国カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校社会学系教授)

「ディアスポラ香港人の政治の模索」

呂青湖(国立台湾大学社会学系副教授)

「個人とは政治である：

記憶・アイデンティティとディアスポラ香港人のアクティヴィズム」

鄧鍵一(香港恒生大学社会科学系副教授)

陳智傑(香港恒生大学コミュニケーション学院副教授)

「移民ブーム下の香港市民のニュース受容と強靱性」

16:15 休憩

16:30 Roundtable1 香港研究の資料収集

司会：呉介民(台湾・中央研究院社会学研究所研究員)

登壇者：倉田 明子(東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授)

村井 寛志（神奈川県立大学外国語学部教授）
西中 利江（駒場東邦中学高等学校社会科教諭）
梁 啓智（台湾・中央研究院社会学研究所訪問研究員）

18:00 終了、夕食

12月15日（日）

10:15 受付開始

10:30 特別セッション 香港をめぐるメディア報道

司会：日下部正樹（TBS テレビ「報道特集」キャスター、立教大学兼任講師）

山田 賢一（元 NHK 放送文化研究所上級研究員）

小川 善照（フリーランスジャーナリスト）

クレ・カオル（フォトジャーナリスト）

平野 愛（テレビドキュメンタリー制作プロデューサー）

12:00 昼食

13:30 第三セッション 文化と社会の変化 司会：李静君（米カリフォルニア州立大）

小栗 宏太（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー）

「1990年代日本におけるカントポップ・ブーム：失われた同時間性を求めて」

張 宇博（早稲田大学非常勤講師）

「香港新世代監督の映画に描かれる『台湾』」

李立峯（香港中文大学ジャーナリズム・コミュニケーション学院教授）

「政治・経済危機下における香港の若者の脱物質主義の再検討」

鄭祖邦（仏光大学社会学・ソーシャルワーカー学系教授）

「国安法下における香港の独立系書店の社会的意義」

16:00 休憩

16:15 Roundtable2 総括

司会：陳健民（中央研究院社会学研究所客員研究員）

倉田 徹

李 静君

梁 啓智

何 明修

17:30 終了、夕食